

「憲法九条を守るわかやま県民の会」ニュース

発行「憲法九条を守るわかやま県民の会」事務局

県地評 Tel 073-436-3520 Fax 073-436-3554 E-mail w-chihyo@naxnet.or.jp

普天間基地の無条件撤去を！

憲法9条を活かそう

JR和歌山駅前で9日宣伝



4月9日「憲法9条を守るわかやま県民の会」と和歌山市9条センターは一時からJR和歌山前で9日宣伝署名行動を行いました。4人がマイク宣伝にたち、それぞれ「与党は国会法改憲案を5月に国会へ提出しようとしている。この法案は内閣法制局長官の答弁を禁止することにより、憲法9条の解釈を内閣主導でおこない、自衛隊の海外派兵、武力行使が出来るようにすることをわらったもの」「米軍基地はイラクやアフガニスタンへ殴り込む戦争の基地になっている。憲法9条を持つ日本に米軍

基地は要らない。普天間基地を無条件撤去せよ。」「9条を持つ国が核兵器廃絶の先頭に立つるよう世論を強めよう」と訴えました。この日は、11人の参加で9条署名37筆署名が集まりました。



当面の日程

5月3日(月)

弁護士9条の会呼びかけの署名・宣伝行動

11時〜JR和歌山駅前

5月9日(日) 全県署名・宣伝行動

憲法集会 午後2時〜 プラザホープ

和歌山市9条センターが 団体代表者会議

5月9日一斉署名・宣伝行動に向けて

4月9日夜、和歌山市共同センターは団体代表者・運営委員会合同会議を開催され、地域9条の会、労組、民主団体から9団体が参加しました。最初、県民の会事務局の坂本文博氏より「新政権下の9条をめぐる動き」の題でミニ講演が約30分ありました。

事務局からは、5月9日の県下一斉宣伝・署名行動に向けての取り組み、憲法集会への参加、九月十一日(日)の第十一回宣伝・署名行動、一〇月一六日(土)の秋の学習会(渡辺治氏が講演)などが提起されました。各団体の日常の取り組み

や5月9日地域行動の準備状況などの交流が行われました。有功・直川9条の会からは、鳩山政権の解釈改憲を許さないための与党への要請行動について報告されました。東9条の会では、4月10日に紀伊風土記の丘でゼッケンを付けて署名行動を行う。雑賀9条の会では10月に9条祭りを計画。障害者・患者9条の会では四月十一日に戦跡巡りを行う。新婦人は高校の校門前で核兵器廃絶署名に取り組みなど、各団体から創意ある取り組みの交流がなされました。

て、憲法九条を守るわかやま県民の会の事務局の坂本文博氏を招いて学習会に取り組みました。この間、活動休止となっていた職員有志九条の会の半年振りの取り組みです。当日は、2週間のNEWS配布で呼びかけが遅くなり、他の予定との重なりもあり、参加者が少数となりました。しかし、NPT再検討会議に向けて核廃絶署名の取り組みを通じて職員意識の変わって

わかやま市民生協 職員有志九条の会 憲法情勢の学習

3月27日(土)午前

わかやま市民生協ホールにおいて、わかやま市民生協職員有志九条の会の4周年目の取り組みとして、「憲法9条を取り巻く情勢と県下の取り組み状況」と題し

きでいて、今後、積極的な情報提供など職員への働きかけが重要だと考えています。坂本さんからは、民主党政権のもとでの憲法をめぐる動向として、鳩山首相は明文改憲には慎重な対応をしているが、アメリカの圧力と国民世論の間で迷走している沖縄の普天間基地移設問題、米軍関係予算の大幅増加、内閣法制局長官の答弁禁止など、逆に解釈改憲への危険性が強まっていると指摘がありました。また、アメリカや財界からの「9条」に対する改憲圧力は変わっていない、9条を守る安定した多

橋本9条の会

総会と学習会

橋本9条の会は、4月18日に、総会と学習講演会を橋本市隅田地区公民館で開催しました。約40人の会員が、参加し学び交流しました。憲法9条を守るわかやま県民の会事務局次長の琴浦龍彦氏(和教組副委員長)が、「安保・基地・憲法9条を考える」と題して約1時間講演しました。琴浦氏は、憲法9条は、人類の最先端の到達点である事を強調したうえで、普天間基地の危険性を「事故の危険」と「戦争の攻撃拠点」という二つの点から世界で最も危険な基地であること、日

米安保条約が日本を守るものでないことなどを具体的に話しました。「国民が作り出した新しい情勢は、憲法の指示す方向で国のあり方が問われる状況になっている。憲法を豊に語る事を大事にしよう」と訴えました。その後の懇談では、「憲法と自衛権」との関係についての質問や国民投票法施行についての質問なども出されました。また、「戦争体験を持つ人が少なくなってきた。戦争体験をしつかり語っていくことが必要」「治安維持法下で反戦の川柳を詠みつけた鶴彬の映画を見て感動した。そういう時代が合った事を忘れてはいけない」など活発な意見交換がなされました。(K)

里崎 正

教派を形成する運動と世論づくりが重要となっていると強調されました。その為、第3回目となる5月9日の県下一斉署名行動におおいに取り組みようと呼びかけられました。「職員有志九条の会」として、職場の仲間全員に呼びかけて地域宣伝行動の取り組みを進めていきたいと思っています。